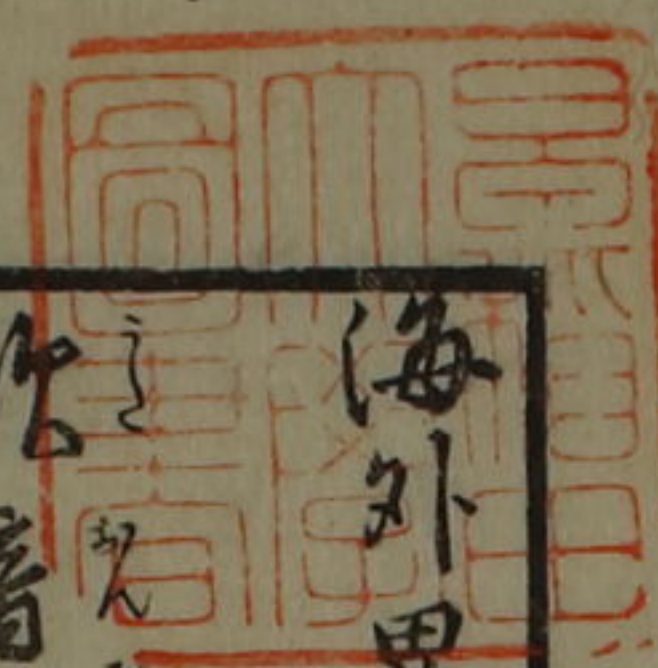


門 凡 2
號 3088
卷 5

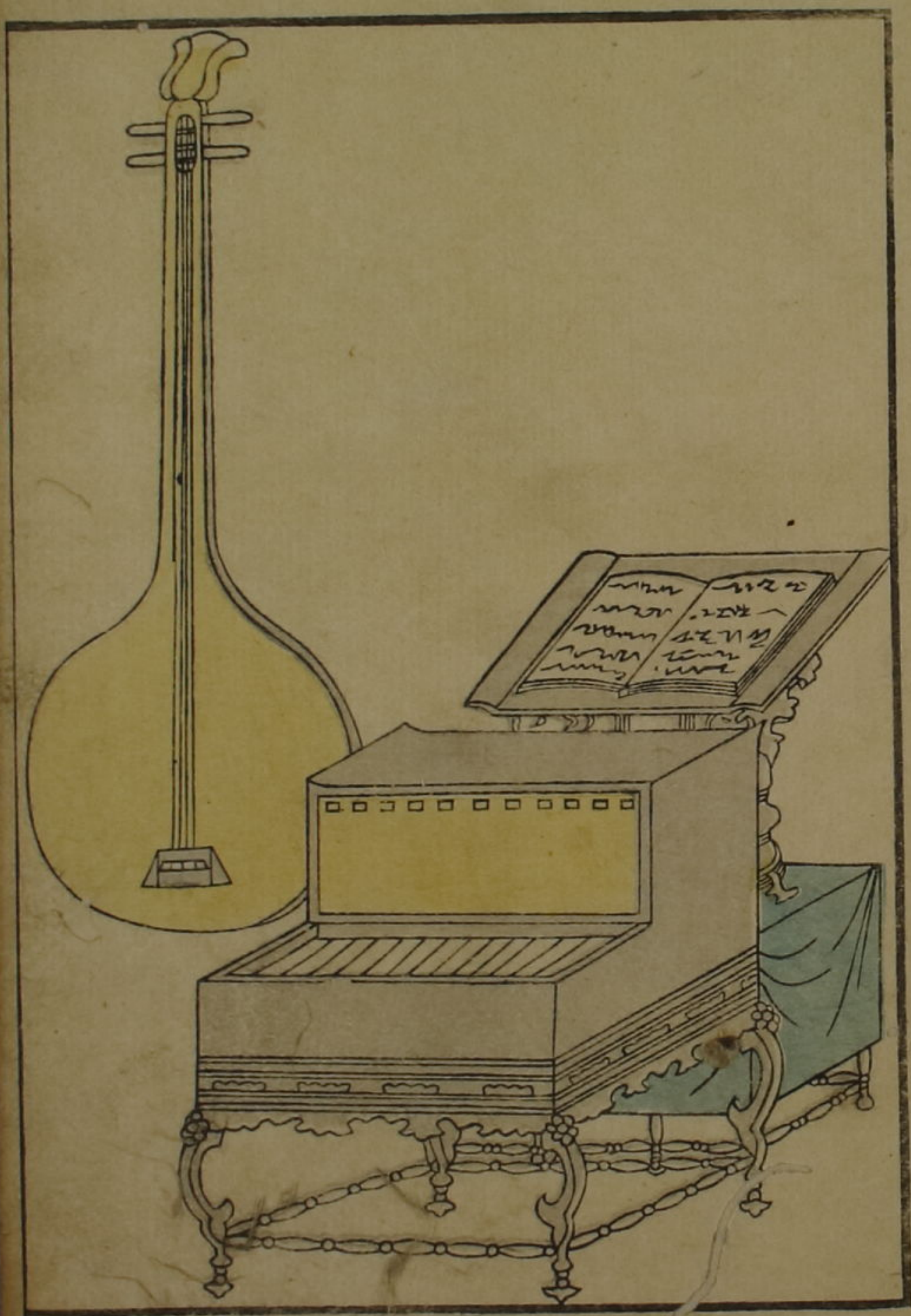
海外異聞卷之五

遊戯

新音曲をいづくところありき異是可の都ありをコメリヤ
とひて芝居も常にいづくところありき樂器も笛太鼓
英一三時像と琴一似るものあり 笛を縦笛横
笛ともあり太鼓も大おあり形も大横日本一同じ
志めを鼓とあり 之味像一似るもの胸の裏表
とる為を板と漲り像ハ四筋より小さを換みく
初く琴ハ板を物と之天竹の箱タカヤサと
みき換り中一機園あり 前一一段像を西より其

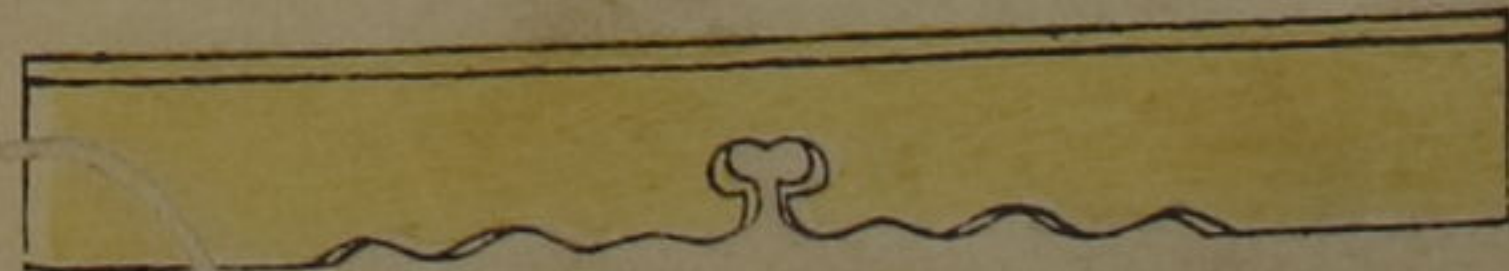
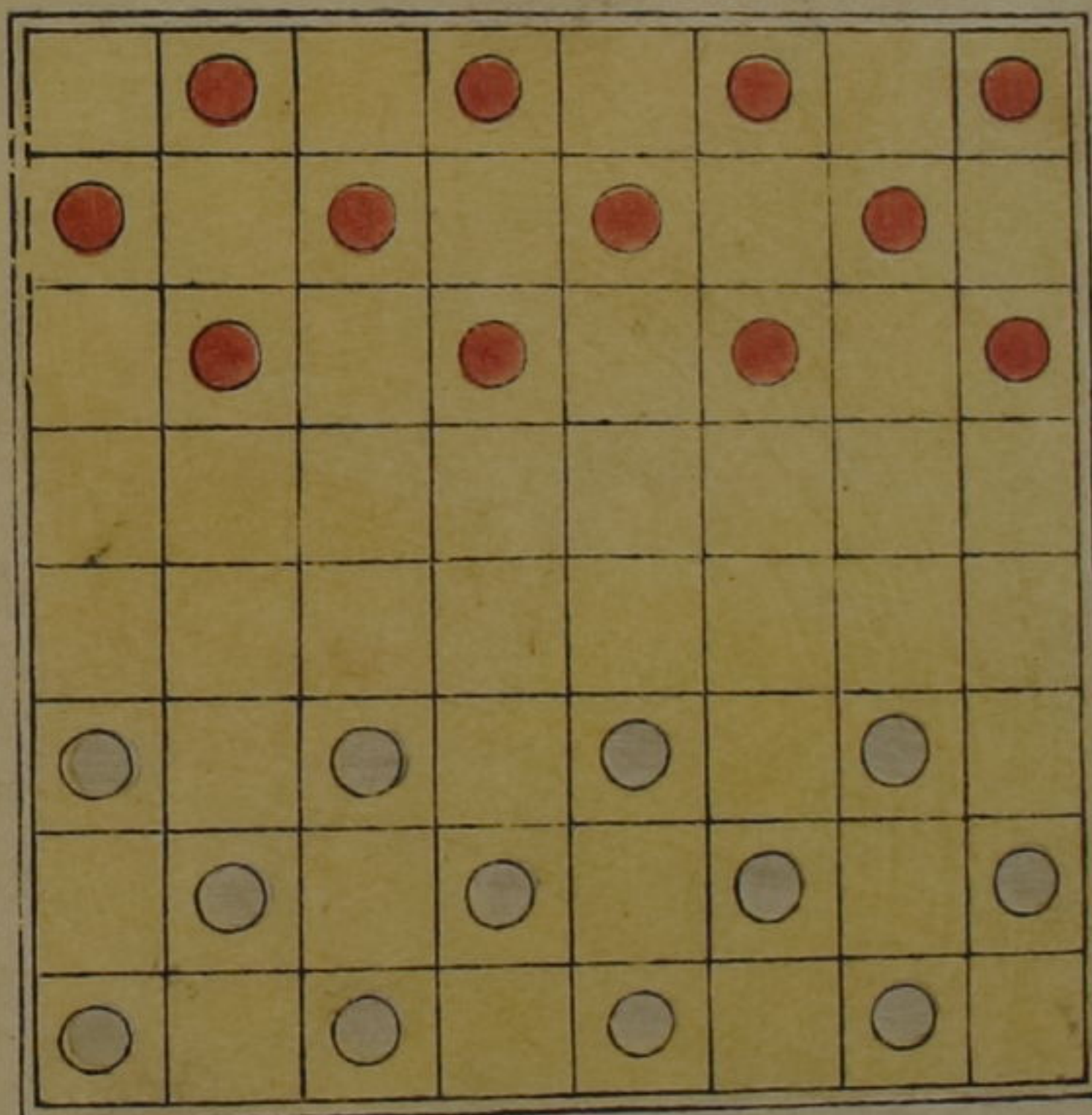


早稲田大學圖書部
昭和25.6.28
購 券



仕方の大抵 日本のお客はことごとくおれはよく持て
 合く有るなり牌はまはりのおわり四人メサのとき
 四角より圍てゐる面紙は輸贏と比る時各對
 空しゝる考れたる牌とお合して數く四人二廻り
 ありて勝負とするなり牌とまぜ合はる日本のお
 客は一切に揃ひて居るにさういふまぜ合
 陽徳の戲はあり本を九きもの徑二十寸なり
 有人互に是を踢む的と定め直て踢當らる者と勝と
 するなり

初布運留中日本人と土人とお撲面は名なり



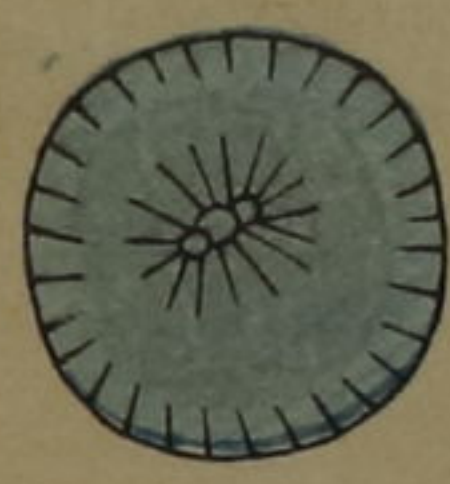
大小銀錢の圖
大サ大抵圖のこー



一種くのこー
花様のりれも有
價ハ大錢と同ー



ペセタ



クワトロ
リヤリス



ドー
リヤリス



ウシ
リヤリ

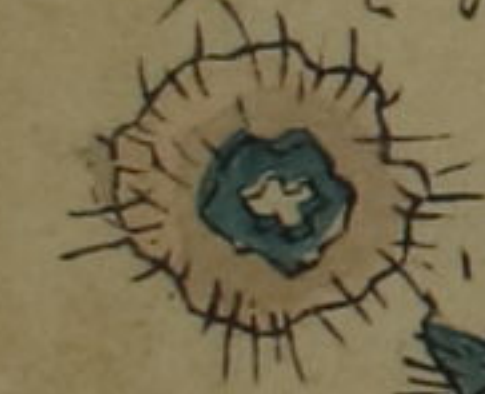


メリウ

ピタヤ



もをみ取てのちに
庵下を刺と叩き
おとす内の肉と
さらふなり



實の
大サコノ
三倍シテ
大サアリ

ビヤの實ととる道具の圖



イゴ

葉細うみ茂りて
實ハ小き茄子の
如く色も紫なり
甚く多く實の
りなり

この入りのハ
皮を剥く

味ハ甘くはやく
乾せば味く柿の
こ

ワモチ

葉ハ楕の大さあて枝茂りて低
實ハ烏柏の實より少く大ま
熟まきい自ら四ツふとけて赤
味ハ佳らざるも澤山なる
もの多し小兒さ

取食ふなり



アリデイヤ
大さ鼠のこー



シリホイラ
金柑のこくみそ長
山中に多し樹と少し
おしうとうせが熟したる
みの自ら多く落さるり
味ハ甘し



過ハ即の種類乃人物
男女並小兒の圖

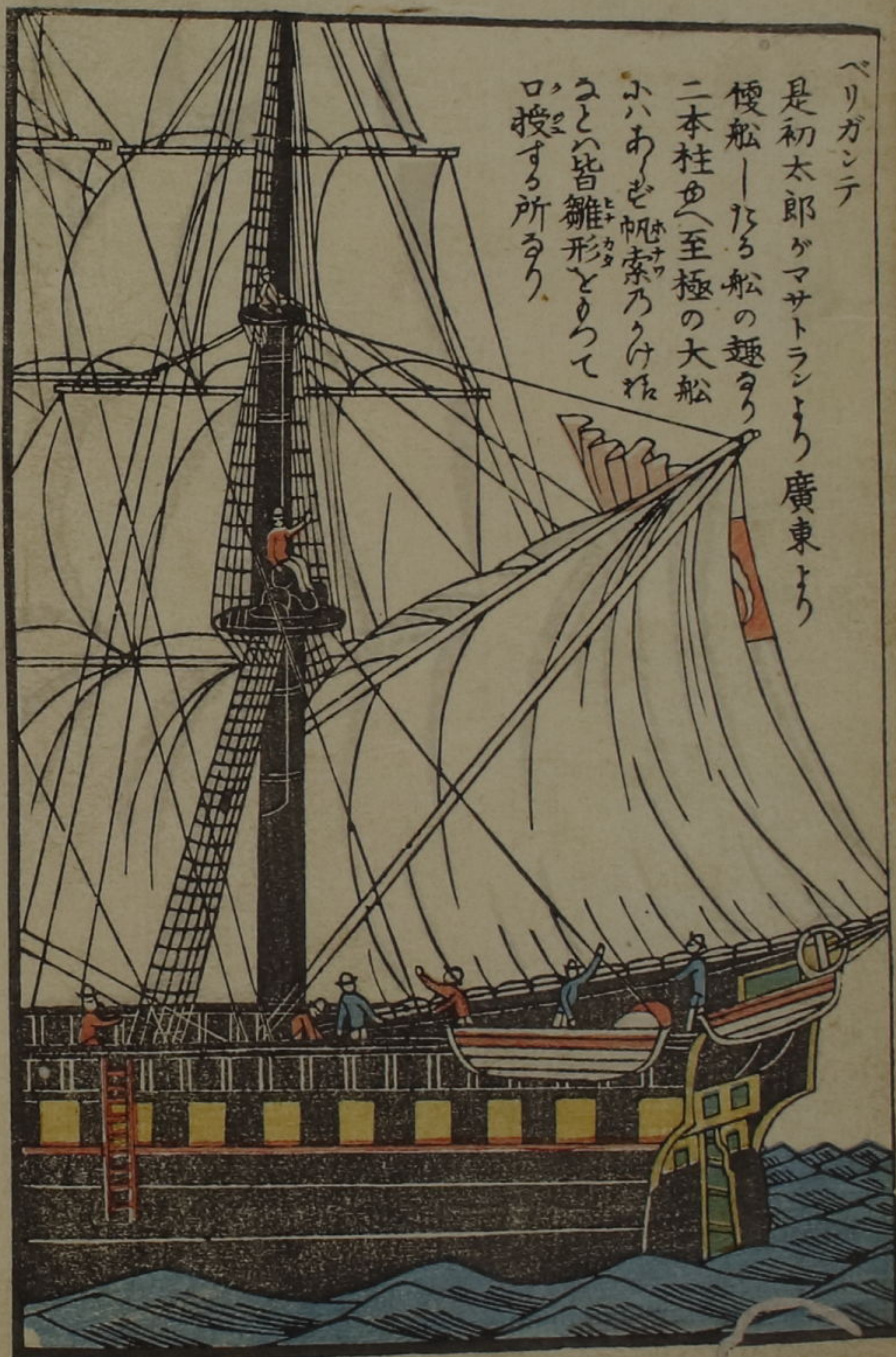
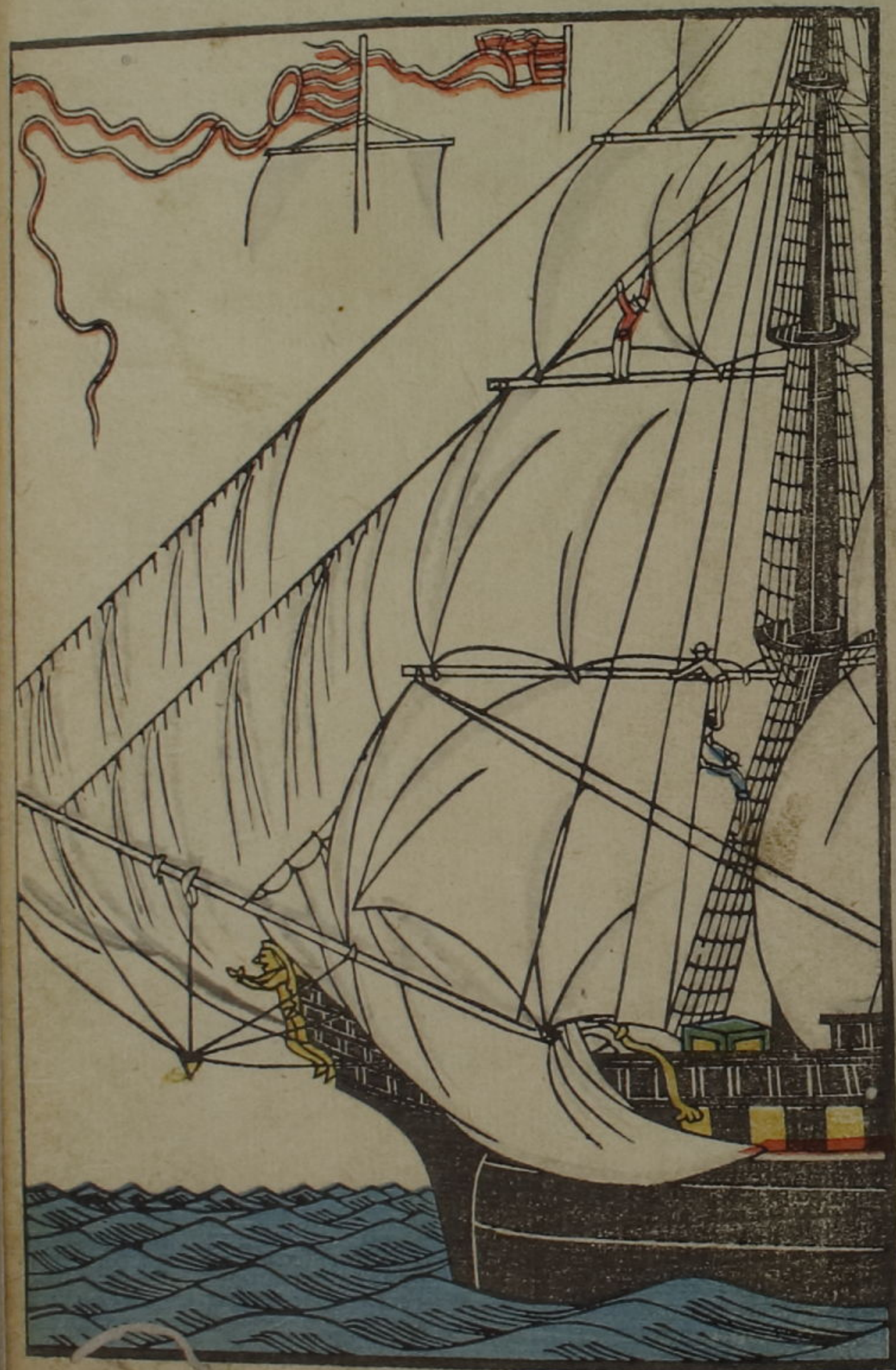
この種乃人ハアメリカ
めても今ハ甚と中
むまり



ありて人ハ甚大兵あるに
押倒されんた離れ飛く
出でたる女く物有りて
人々人を欺きて例とて
怒りて

貨財

角利弗兒其の色を金
て運びある罪の撲山の
ハ秋花くして厚さ一分
定いありて大鏡一枚
目七分二厘五分小鏡十六



ベリガント
 是初太郎がマサトランより廣東より
 便船一なる船の趣あり
 二本柱色至極の大船
 小あざ帆索乃くけね
 ことへ皆雛形とて
 口授する所あり

一々作りぬのち脚く鉄の大なる車に船中一機園
 わりて大いなりびきり湯沸騰りしをわたり
 船て舟の車と知しありと掻き舟をさす
 一は帆と舟を運送しは帆と下しをさす
 舟の如し船戦の対兵糧を運送し又緊急に救
 急必し船と舟の中より舟の入り力りし
 舟を運送しは帆と下しをさす
 舟を運送しは帆と下しをさす

草丈

樹木はくあれども異なりしを去地を尋し

海五ノ立

樹木のびくも本は甚端くたふく之は石の本もわき
 どもはみんみのゆり曲りくたる目のをくやうと
 して唐葎の如れものまきし種木の何れも来り
 ありしれは在る作らるる種木の何れも来りし
 種木の何れも来りし種木の何れも来りし

裂け中の多くして西凡の内れしく黒胡麻と搥
 うけたらぬと点まのり味を替へし是と取ら
 竿のゆきし行をさしき下は板を栗きそと実と行
 り実さしそと取らり刺多きそと取らるる
 板をけきの行は実さしそと取らるる
 て落らるる
 ツモコとりよの酸橋は似くありしそと味も
 是をたて肉の肉とをり皮むらりと結実し
 は漬食後ろくに食ふ
 クワヤホとりよの皮の質梨子よく似くまきと

毒上六

凡そ二種あり肉も種も是は食に熱せされ
 肉の心堅しそと食ふつらに味微し其れどおし
 臭きある所は焼くもの、食する半結んで去
 りもまき焼と知る時を為しそと甚佳也
 深山中一程乃木あり其名を忘たり樹を
 志按桐と似て毛をり一丈身あり
 去入馬よ寄て山に入りけ木と名を切倒して天
 覆づよ小切山中深く穴と掘り枯木と名を薪
 云一穴の中しそと火と久し成補土高く成らるる
 薪と結らば出しそと長く右の小切ら木をのれ

海外異聞卷之五

大尾



海五ノ九

